

- 問1 大化の改新以降、8世紀初頭にかけて整備された律令制度の目的と内容について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 欧米の近代的な憲法を手本に、議會を開設することで、国民が政治に参加する仕組みをつくること。 | 2. 武家社会の慣習をもとに、御成敗式目を制定することで、武士による裁判の基準を明確にすること。 | 3. 大名を統制するために武家諸法度を定め、幕藩体制による安定した政治を実現すること。 | 4. 唐の法律を参考に、刑罰や政治の仕組みを整えることで、天皇を中心とする中央集権的な国家をつくること。 |
|--|--|---|--|
- 問2 奈良時代、朝廷が東北地方の支配を広げるために、現在の宮城県に設置した行政と軍事の拠点として正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 安土城 | 2. 大宰府 | 3. 多賀城 | 4. 国分寺 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 律令制下で作成された戸籍において、「筑前」という広域の区分の後に空欄A、「嶋」というその下位の区分の後に空欄B、「戸翻川」というさらに下位の区分の後に空欄Cが続く記述形式が見られる場合、A・B・Cに当てはまる地方行政区分の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. A:国 B:郡 C:里 | 2. A:藩 B:郡 C:村 | 3. A:道 B:府 C:県 | 4. A:国 B:里 C:郡 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
- 問4 飛鳥時代から奈良時代にかけて整備された律令国家の税制のうち、収穫高そのものではなく「口分田の面積」を基準として課され、収穫した稲を地方の倉庫に貯蔵することが義務付けられていた税はどれですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|---------------------------|---------------------|---------------------------|
| 1. 絹や糸、または地方の特産物を納める調 | 2. 地方の国司のもとで年間60日を限度に働く雑徭 | 3. 都での労役の代わりに布を納める庸 | 4. 班田収授法によって与えられた土地に課される租 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------|---------------------------|
- 問5 律令制のもとで、正丁（成人男子）に課された税のうち、都へ赴いて年間10日間働く「歳役」という労役の代わりに、布を納めることとされたものを何といいますか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|------|------|
| 1. 租 | 2. 雑徭 | 3. 調 | 4. 庸 |
|------|-------|------|------|
- 問6 奈良時代、西アジアやインドを起源とする国際色豊かな文化や宝物が、中国大陸での交易を経て日本へもたらされました。これら多くの宝物が現在まで良好な状態で収められている正倉院の品々に見られるような、内陸アジアや西アジアとのつながりを示す陸上の交易路を何といいますか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|-------------------|-----------|----------------|
| 1. 茶馬古道（ちゃばごどう） | 2. スパイスルート（香辛料の道） | 3. アッピア街道 | 4. シルクロード（絹の道） |
|-----------------|-------------------|-----------|----------------|
- 問7 8世紀の日本の特色をまとめた記述において、当時の文化は「大陸の影響を受けた国際色豊かな文化」と表現されます。この文化を象徴する正倉院に収蔵されている宝物の特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|---|-------------------------------------|
| 1. 平安京への遷都以降に発達した、日本独自の風土や感覚に基づいた品々 | 2. 禅宗の影響を受け、武士の精神性を反映した簡素で力強い品々 | 3. ヨーロッパからの宣教師によってもたらされた、活版印刷機やキリスト教関連の品々 | 4. ペルシャ風の文様やガラス製品など、西アジアや唐の影響を受けた品々 |
|-------------------------------------|---------------------------------|---|-------------------------------------|
- 問8 奈良時代の8世紀半ば、聖武天皇が多額の費用と労働力を投じて大仏の造立や国分寺の建立を進めた背景にある目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
| 1. 他国からの軍事的侵略を防ぐため、寺院を軍事的な要塞として利用するため | 2. 急速に普及していたキリスト教に対抗し、日本の伝統的な神道を保護するため | 3. 仏教を国家の教えとして広めることで、疫病や社会不安による混乱を鎮めるため | 4. 有力な貴族たちの財産や権力を抑制し、天皇による独裁体制を強化するため |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
- 問9 防人として九州へ派遣された兵士たちが、故郷や家族を思って詠んだ歌が収められている、日本最古の和歌集を次から選びなさい。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|
| 1. 古今和歌集 | 2. 新古今和歌集 | 3. 日本書紀 | 4. 万葉集 |
|----------|-----------|---------|--------|
- 問10 ある天皇が発した命令文の中で、「人々の救済や仏教を盛んにするために、金銅の大仏を一体造る。このことを全国に知らせ、私の気持ちを皆に知ってほしい」という趣旨の内容が記されています。この命令を出した、東大寺の大仏造立を命じた人物は誰ですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天武天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 桓武天皇 | 4. 推古天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 大宝律令の制定によって確立された「公地公民」の原則に基づき、当時の人々の生活や税制について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 検地を行い、農地を実際に耕している農民を土地の所有者として認め、地租を課した。 | 2. 有力な農民に名主としての権利を認め、年貢の納入を請け負わせる名主制を導入した。 | 3. 戸籍を作成して人々に口分田を与え、代わりに租・庸・調などの税を課した。 | 4. 大名に参勤交代を義務付け、その領地で収穫される米の量を石高として登録した。 |
|--|--|--|--|
- 問12 奈良時代末期に成立した日本最古の和歌集で、大伴家持が編纂に関わったとされる作品を次から選びなさい。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|--------|--------|
| 1. 新古今和歌集 | 2. 古今和歌集 | 3. 懐風藻 | 4. 万葉集 |
|-----------|----------|--------|--------|
- 問13 奈良時代の平城京には、律令制度に基づいて地方から多くの物資が運び込まれました。当時の税制度である「租・庸・調」のうち、都での労働の代わりに布を納める「庸」や、地方の特産物を納める「調」が都に運ばれた実態について、正しい説明を選びなさい。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 輸送中の盗難を防ぐため、すべての物資は海路を使って瀬戸内海経由で運ばれた。 | 2. 都の役人が地方へ向向き、それぞれの村で物資を回収して都へ持ち帰っていた。 | 3. これらの税はすべて、九州の防衛を担当していた防人の給与として直接送られていた。 | 4. 農民は、都まで自分たちの足で重い荷物を運ぶという大変な負担を負っていた。 |
|--|---|--|---|
- 問14 古代の日本で行われた「口分田」をめぐる仕組みについて、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 江戸時代の村において、名主・組頭・百姓代といった村役人が中心となって、年貢のとりまとめを行った土地である。 | 2. 律令に基づき、6歳以上の男女に土地を与え、死後は国に返還させる一方で、租や労役の負担を課した。 | 3. 明治時代の地租改正において、地価を記した地券を交付することで土地の所有権を認め、金納の義務を課した。 | 4. 室町時代に農民たちが「惣」と呼ばれる自治組織をつくり、村の共有地として共同で管理・運用した。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 唐の法律を参考に、 刑罰や政治の仕組みを整えることで、天皇を中心とする中央集権的な国家をつくること。	律令制度は、それまでの豪族による連合体的な政治から、天皇が全国の土地と人民を直接支配する「公地公民」の仕組みへと転換させるための大きな柱でした。刑罰である「律」と行政規定である「令」を使い分けることで、全国を統一的に統治することを目指しました。選択肢にある御成敗式目や武家諸法度は、のちの武士の時代の法律であり、律令とは性質が異なります。
問2	答え 3 多賀城	奈良時代の朝廷は、支配体制を全国に広げる過程で、各地に重要な拠点を置きました。現在の宮城県に築かれた多賀城は、陸奥国の国府（役所）としての行政機能と、当時「蝦夷」と呼ばれた東北地方の人々に対抗するための軍事機能を併せ持っていました。一方、九州に置かれた大宰府は外交や防衛の拠点であり、国分寺は仏教による国家鎮護を目的として全国に建立された寺院です。
問3	答え 1 A:国 B:郡 C:里	律令制度の地方行政区分は、広い範囲から順に「国（くに）」・「郡（こおり）」・「里（り、のちに郷）」と定められていました。「筑前」は国名、「嶋」は郡名に該当するため、この順序が適切です。「道・府・県」は現代、「藩」は江戸時代の区分です。
問4	答え 4 班田収授法によって与えられた土地に課される租	律令制における「租」は、班田収授法によって支給された口分田に対して課されました。収穫した稲の3%程度を納めるもので、飢饉に備えるなどの目的で、主に地方（国衙）の倉庫に保管されました。一方で、特産物を納める「調」や、都に送られて政府の財源となる「庸」などは、民衆が都まで運ぶ負担が非常に重かったという特徴があります。
問5	答え 4 庸	律令時代の中心的な税制（租・庸・調）の一つです。もともとは都での肉体労働が義務付けられていましたが、その労働を免除される代わりに、一定の長さの布を納める仕組みが整えられました。これに対し、収穫した稲を納めるものは「租」、各地の特産物を納めるものは「調」と呼ばれます。
問6	答え 4 シルクロード（絹の道）	古代の中国と西アジア、そしてヨーロッパ方面を結んだ陸上の交易路をシルクロードと呼びます。このルートを通じて、西アジアやインドの楽器、意匠、技法が中国へ伝わり、さらに唐との交流が盛んだった奈良時代の日本にもたらされました。正倉院にはその当時の国際交流を裏付ける品々が数多く保管されており、「シルクロードの終着点」とも称されます。
問7	答え 4 ベルシャ風の文様やガラス製品など、西アジアや唐の影響を受けた品々	聖武天皇の時代の文化は天平文化と呼ばれ、唐の文化や仏教が強く影響していました。正倉院の宝物には、遠く西アジアからシルクロードを渡って伝わった工芸品が多数含まれており、当時の日本が国際的なネットワークの終着点であったことを示しています。桓武天皇による平安遷都後の国風文化とは区別が必要です。
問8	答え 3 仏教を国家の教えとして広めることで、疫病や社会不安による混乱を鎮めるため	当時の記録（年表上の項目など）によれば、この時期は感染症の流行によって多くの命が失われ、政治的な対立も続いていました。聖武天皇は、人々の心のよりどころを仏教に求め、国家が主体となって仏教を奨励することで、社会を平穩に導こうと試みました。これは、単なる個人の信仰を超えた、国の統治政策の一環でした。
問9	答え 4 万葉集	防人は主に東国の農民から選ばれ、任期は3年とされていましたが、現地までの旅費や食糧は自己負担という極めて厳しい条件でした。こうした兵士たちが家族との別れや悲しみを詠んだ歌は「防人の歌」と呼ばれ、当時の庶民の生活や感情を記録した貴重な文学的資料となっています。
問10	答え 2 聖武天皇	『続日本紀』に記された「大仏造立の詔」に関する記述です。聖武天皇は、仏の力によって人々の苦しみを取り除き、国を安定させるために東大寺に大仏を造ることを決意しました。この事業には、弾圧されていた行基を登用するなど、民間の協力も得て進められました。
問11	答え 3 戸籍を作成して人々に口分田を与え、代わりに租・庸・調などの税を課した。	律令制度のもとでは、土地と人民はすべて国家のものとする「公地公民」の考え方が徹底されました。これに基づき、6歳以上の男女に土地を貸し与える「班田収授法」が行われ、戸籍によって管理された人民には、稲を納める「租」や、地方の特産物を納める「調」などの重い負担が課せられました。
問12	答え 4 万葉集	奈良時代を代表する文化遺産であり、約4,500首の歌が収められています。平安時代に編纂された初の勅撰和歌集である『古今和歌集』や、鎌倉時代の『新古今和歌集』と時代の区別をつけることが重要です。また、『懷風藻』は日本最古の「漢詩集」であり、和歌集である本作とは区別されます。
問13	答え 4 農民は、都まで自分たちの足で重い荷物を運ぶという大変な負担を負っていた。	律令国家の財政を支えた「庸」や「調」は、農民が自ら都まで運ぶ「運脚（うんきやく）」という仕組みによって平城京に集められました。食料を持参して長い道のりを歩くこの負担は、当時の農民にとって非常に重いものでした。平城京は、全国各地の富や特産物が集まる物流の拠点としての役割も持っていました。
問14	答え 2 律令に基づき、6歳以上の男女に土地を与え、死後は国に返還させる一方で、租や労役の負担を課した。	口分田は、律令国家が民衆を直接支配し、安定した税収（租）や労働力（労役）を確保するために整備された制度です。土地はあくまで国家から一時的に貸し出されたものという位置づけであったため、売買は禁止されており、本人の死後は再び国に返すという原則がありました。